

事務事業評価(事前評価)シート【令和3年度】

主管課(担当名)	介護福祉課(高齢者包括支援担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	高齢者見守り支援事業	事業番号	12898

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-6	高齢者介護の充実
	施策目標	人と人が支え合い高齢者が安心して暮らせるまち	

2 事務事業の目的

目的	地域包括ケアシステムの構築のため、声かけ、見守り等の地域コミュニティづくりにより、高齢者が安全・安心に生活する環境を整える。
成果	緊急時の見守り体制、除雪サポートなどにより高齢者の生活面の不安をやわらげ、ユニバーサルデザインタクシーの整備で利用者の身体状態にかかわらず移動手段を確保するなど、高齢者がより住みやすいまちを目指す。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input checked="" type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input checked="" type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	R1							
	R2							
	R3	高齢者見守りボランティア・除雪サービス・福祉除雪活動助成・外出支援サービス・安否確認サービス・緊急通報システム・ユニバーサルデザインタクシー導入補助						
	R4	高齢者見守りボランティア・除雪サービス・福祉除雪活動助成・外出支援サービス・安否確認サービス・緊急通報システム・ユニバーサルデザインタクシー導入補助						
	R5	高齢者見守りボランティア・除雪サービス・福祉除雪活動助成・外出支援サービス・安否確認サービス・緊急通報システム・ユニバーサルデザインタクシー導入補助						
事業費と内訳	(単位:千円)	R1	R2	R3	R4	R5	総事業費	
	事業費			35,321	35,321	35,321	105,963	
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他			35,321	35,321	35,321	105,963
		一般財源						
	人員(人工)			0.42	0.42	0.42	1.26	
職員費(人員×7,704千円)			3,223	3,223	3,223	9,668		
総事業費			38,544	38,544	38,544	115,631		
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R2)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	高齢者見守りボランティア登録者数	団体27件 個人102件	-	団体33件 個人124件
	除雪サービス利用者数	245人	-	270人
	福祉除雪活動助成者数	団体13件 個人2件	-	団体20件 個人10件
	外出支援サービス利用者実数	127人	-	150人
	安否確認サービス利用者数	555人	-	580人
	緊急通報システム利用者数	協力型175件 駆付型20件	-	協力型200件 駆付型30件
	市内タクシー業者におけるユニバーサルデザインタクシー(車椅子対応含む)の割合	11.9%	-	21.4%
事務事業改善策 (継続事業のみ記入)				

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	<p>高齢者見守りボランティア～ひとり暮らし高齢者の孤立や孤独を防ぎ、自立を促すことが期待できる。</p> <p>除雪サービス事業～市内委託業者により、利用者のニーズに合ったきめ細かい除雪を行う。</p> <p>福祉除雪活動助成～各地域の除雪ボランティアにより、きめ細かい除雪と地域の見守りに繋がる。</p> <p>外出支援サービス～自力で外出できない利用者に、外出機会を作り出す。</p> <p>安否確認サービス～独居高齢者等を訪問声かけすることで、見守りとなり孤立を防ぐ。</p> <p>緊急通報システム～独居高齢者を常時見守ることで安心感を与える。</p> <p>UDデザインタクシー～導入を補助することで、誰もが移動手段を確保できる。</p>
--------------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<p>■かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない</p> <p>いずれも、独居・世帯高齢者を問わず、生活に直結する事業であり、ニーズは高い。</p>
イ. 市が実施する必要性	<p>■市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である</p> <p>地域包括ケアシステムの構築を目指す事業であり、市が行うべき。</p>
ウ. 事業の緊急性	<p>■緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない</p> <p>独居高齢者等が増加し、冬期間は高齢者自身での労力確保が困難になり除雪による避難路の確保が難しい、親族が近くにいらないことなどから、地域の見守りボランティアによる見守りや乳酸菌業者の訪問が必要になったり、緊急通報システムによる見守りを要するなど、緊急性は高い。</p>
エ. 手段の適切性	<p>■適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある</p> <p>いずれも、高齢者等の現状に即した事業、移動手段確保のための補助であり、手法は適切である。</p>
オ. 事業の公平性	<p>■公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある</p> <p>除雪サービス、福祉除雪、安否確認、緊急通報～市内全ての高齢者を対象としており、公平である。</p> <p>見守りボランティア～全ての市民が登録でき、市内全ての高齢者が見守り対象であり、公平である。</p> <p>外出支援サービス～市内全ての自力移動困難な高齢者等が対象であり、公平である。</p> <p>UDタクシー導入補助～市内全てのタクシー業者が対象であり、導入した車両も市内全ての車椅子等利用者が利用でき、公平である。</p>
カ. 事業の有効性	<p>■本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない</p> <p>従前より取り組まれている事業であるが、地域での見守りや除雪による避難路確保、移動手段の確保など、事業は有効性が高い。</p>

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<p>【速やかに実施】</p> <p>多様化する高齢者のニーズを把握し、地域とつながり、生きがいを感じられる社会参加の機会の充実に向けた検討を加えながら、適正な事業推進を図られたい。</p>
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<p>■計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する</p> <p>今後も、高齢者の増加が見込まれ、各種ボランティアのサポートによる一人暮らし高齢者の見守りなど、ニーズが高まることが想定されることから、計画通り着手し、高齢者の生活支援に努める。</p>

作成年月 令和3年7月